

# ランチョンセミナー I

## 「酵母ペプチド DNF-10 の食欲コントロール 及び脂肪合成抑制に関する機能」

Jung Eun Young, ph D (ジョン・ウニョン教授)

Professor Dept. of Home Economics Education, College of Education, Jeonju University  
(韓国全州大学、家庭教育科)

酵母ペプチド DNF-10 は、以前より動物試験で食欲関連神経伝達物質の発現に対する影響を通じて食欲抑制作用があることが示されていた。このダイエット素材としての可能性を検討するために、ヒトでの効果に対して臨床試験を実施した。成人の肥満者 54 名を対象として、酵母ペプチド DNF-10 1g/日摂取群と、偽薬を摂取する陰性対照群で、10 週間の試験を行った結果、男女共に対照群は体重及び体脂肪関連指標の増加または若干の減少の傾向を示したのに対して、酵母ペプチド DNF-10 群は 10 週間持続的なエネルギー摂取減少とともに、体重、体質量指数、体脂肪量、体脂肪率、ウエスト周り、皮下脂肪の厚さの明らかな減少傾向を示し、特に除脂肪体重減量では有意な差がなかったものの、体重、体質量指数、ウエスト周り及び皮下脂肪の厚さの有意な減少を見せ、酵母ペプチド DNF-10 はカロリー摂取減少による体重及び体脂肪、特に腹部脂肪の減少を誘導させることが示された。これは動物試験結果で示された食欲抑制に関連する作用によるものと判断される。